

11年5月
第154号



4年生150人以上を前に子供の頃のカーミージーでの思い出などを語る照屋つる子さん。左隣は照屋寛忠さん 銘苅会長（22日港小視聴覚教室で）

地域の「今昔」伝える

港川小「カーミージー探検隊」

地域と学校が連携して行っている4年生の総合学習「カーミージー探検隊」は、すっかり同校の独自授業として定着した感じです。今年も6月2日（木）の観察会に向け、18日と22日教室での事前学習が行わ

5月のふれあいサロン

「これからの活動に向けて」

30日（月） 午後2時～

場所は公民館です

平成23年度のサロン実施と助成金交付が、このほど市社会福祉協議会から伝えられてきました。今年は地域防災活動の課題やがんじゅう訪問の定期的な実施、アーサ料理講習一などが企画されています。外部からは発達障害児の学習支援施設「遊友」（池村みどり所長）からの交流提案もあります。自分たちの安心と生きがいづくりを基本に、内容や時期などで意見交換をしましょう！

れました。18日は地域から照屋つる子さん、照屋寛忠さん、銘苅会長が講師役で、カーミージーの海と地域の人達との結びつきや、昔の子どもの遊び、上港川一帯の変化の様子などを、写真などを使って説明しました。22日の授業では「しかたに自然案内」鹿谷法一・麻夕先生が港川の

海の特徴や生き物、海草藻場の役割、観察に当たっての注意点などを分かりやすく説明。子ども達の期待は大きく、いよいよ6月2日には希望の「カーミージーの海」に出かけます。自治会では、当日も安全確保などで支援していきます。区民の皆さんもご協力下さい

地域美化で汗流す

公民館周辺など、花木植え替え

22日、多くの区民が参加して、花木植え作業が行われました。下地域は公民館の庭やブロック沿いのプランターの

植え替え、いつも駐車場利用で世話になっていく正門前の花壇も、新しい花木苗が植え付けられました



上地城は緑地公園の花壇。2月に植えた花の一部はまだまだ咲いていないため、



堆積土砂除去を！

市に要請 シリンカー河口がすっかり土砂で埋まっています。水質汚濁、台風時の高波となり危険。



雑草を取り除いて、追肥を中心に手入れ。5つの花壇のうち3カ所は新しい苗に植え替えました。同日は園内通路の清掃なども行いました。

ゆるゆとときどき閑話

うるま市内に「志林川自治会」というのがあります。呼び方も「シリンカー」。当地のシリンカーと共通するのがあるのか気になり、同市の市史編集室に問い合わせたところ「もともとの小字名は尻川。新しく自治会が出来たとき、しりがわでは印象が良くないと言うことでシリンカー、漢字表記を志林川としたようです」とのことでした。ところで、港川のシリンカーの語源はなんだろう？。昔から伝わる地名の場合、ユクイダキ（又はユクダキ）やカーミージーなどのように、その地の地形や特徴などが呼び方の基になっているケースが目立ちます。自然と共生した先人のユニークな「生活の知恵」として、ぜひ、大事に残していきたいものです。